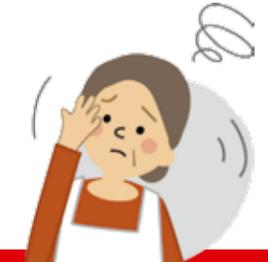


通所介護たより



熱中症が疑われたら すぐに対処を



熱中症が疑われるとき

- いつもより元気がない
- うとうとする、ボーっとする
- 言葉がもつれる
- 尿が少ない
- 手足やおなかの筋肉がけいれんする
- めまい、吐き気
- だるさ、頭痛がする
- 言動がおかしい、意識不明
- まっすぐに歩けない
- 体が熱い

熱中症の主な応急処置

- ★木陰など、風通しのよい場所やエアコンの効いた部屋にうつす
- ★衣服をゆるめて、靴下や靴を脱がし、体を楽にする
- ★自分で飲めるようなら、スポーツドリンクや食塩水を飲ます
- ★体の表面を水でぬらし、うちわなどであおぐ
- ★首筋、わきの下、足の付け根などを冷水や氷で冷やす

意識がない（反応がない）ときや言動がおかしいとき、自分で水分がとれないときは重症です。すぐに救急車を手配しましょう



NPO法人ほっとあいからのご案内

「ほっとする・あったかい・助け合い・愛」
 特定非営利活動法人ほっとあいは、平成10年の設立時より「住み慣れた地域で暮らしたい」と願う人々の思いに寄り添いながら活動を続けてまいりました。
 その時々様々なニーズに対応するために多様なサービスを展開しています。
 みなさまのまわりで、ほっとあいを必要とされる方がいらっしゃいましたら、担当の者までお声がけ下さい。

自主事業(住民参加型在宅福祉サービス)
 ・ファミリーサポートホームヘルプサービス
 ・外出支援・移動サービス
 ・ほっとあいの家(デイケア・ナイトケア)
 ・おしゃべりサロンほっとあい(毎週土曜日)

介護保険事業
 ・居宅介護支援・訪問介護・通所介護

障害者自立支援法
 ・ホームヘルプサービス

行政委託事業
 ・軽度生活支援・障害者等移動支援
 ・障害者等一時預かり

各事業の担当者がご相談を承ります。 ☎0224-52-8555

みんな役割をもっています

今年の夏は、どんな天候になるでしょうか、心配ですね。熱中症について、裏面で記していますので、お読みください。
 さて私達は、互いの人間関係の中で影響を受け、影響を与えて生活しています。私達は、社会の中で役割を担うことで、社会参加を果たし、それがやりがいや生きがいという、生きる意欲へとつながります。

社会とえば、大会社や団体や町内会など、大きな組織を思い浮かべるかもしれません。しかし、それだけではありません。二人以上の人が集まれば家庭も小社会です。その中で『役割を果たそうとすること、役割を認められること』は、人間としての尊厳につながる大切な大切なことです。
 デイサービスに通うことも、社会参加です。九十七歳で亡くなられたKさんは、私達スタッフや通所の利用仲間のために、一生懸命童話を読んで下さいました。一〇二歳で亡くなられたFさんは、百人一首を一緒に楽しみました。九十四歳で亡くなられたTさんは、

ルール違反のある利用者を戒め、九十五歳のSさんは人生の大切さを語って聞かせて下さり、九十八歳のMさんは、お天気にお料理に感謝し、ペットボトル大会で高得点を出し皆さんの目標になつていきます。

お一人お一人の顔を思い浮かべてみると、どの方も高齢や病気等による困難な状況があり、何らかの支援が必要ですが、視点を変えてみると、自ら生活上の困難を解決していこうとする強さがあり、その人なりの役割を持つて一緒に時を過ごしています。

私達介護スタッフの役割は、皆さんの参加活動を支援し、その人らしさを大切にし、チームの一員としてお互いに一日を楽しく安全に過ごしていただくように支援することだと思っております。

七月の行事

- ・紙芝居
- ・お茶会
- ・誕生会
- ・ハーモニカ
- ・梅シロップ作り
- ・みんなと一緒に唄おう



June 活動風景

六月の壁画は、朝の会時、皆さんからお話をアドバイスをお聞きしながら組み立てて作成していただきました。蓮の池にはおたまじやくしやカエルがたくさんいます。また、川沿いには色とりどりのアジサイが咲きました。このアジサイはちぎり絵や塗り絵など、人それぞれ個性あふれる作品となり、重なり合うことで、また違った味が出ております。

家の軒下にはツバメがやってきました。皆さんに、幸せを運んできてくれそうですね。
 六月の行事の一つとして、笹巻き作りを行いました。「作ることがある」と、スムーズに行って下さる方もいらっしゃいました。おやつ時に皆さんでおいしくいただきました。

